

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
山行計画書 (party wandering)
山行名：権現岳権現岳権現岳ごんげガッ (舌かんだ)

【山行名】 権現岳権現岳権現岳ごんげガッ (舌かんだ)				
【日時】 2007年2月24日(土)～2月27日(火)		(前夜発1泊2日+予備日2日)		
【目的】 権現岳からの眺めを楽しむ ピッケル・アイゼンワークの習得				
【山城】 南八ヶ岳				
【使用地形図】 八ヶ岳東部、八ヶ岳西部 (1/25000)				
【参加条件】 2006年度冬山研究班班員及びそのOB・OG				
【日程】				
前夜 (2/23) つくば (車) 天女山入口				
1日目 (2/24) 天女山入口 (0:30) 天女山 (2:15) 1850m地点 (2:45) 前三ツ頭 (1:00) 三ツ頭 三ツ頭 (0:20) 2530m				
				行動時間【6:50】
2日目 (2/25) 2530m (1:00) 権現岳 (2:30) 1850m地点 (1:00) 天女山入口				
				行動時間【4:30】
3. 4日目 (2/26.27) 予備日				
【現地交通機関】				
長坂タクシー (甲斐大泉駅)				0551-38-2255
【小屋情報】				
小屋	収容人数	水	電話	備考
権現小屋	50人	×	090-2657-9720	休業中
【現地气象台】				
甲府地方气象台				055-222-2347
【荒天対策】				
入山しない、引き返す、ビバーク、停滞				

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
 山行計画書 (party wandering)
 山行名：権現岳権現岳権現岳ごんげガッ (舌かんだ)

【食料計画】

	1日目	2日目	3日目	4日目
朝	個	団	(団)	(団)
昼	個	個	(個)	(個)
夕	団	(団)	(団)	

個：個人食料 団：団体食料 () がついているものは予備食

【団体装備】

- テント一式 (本体、外張り、ポール) 団マット ガスヘッド ガスボンベ×2
 ガソリンストーブ ホワイトガソリン×1.5ℓ 団コップフェル 無線機 ラジオ
 天気図用紙 スコップ×3 ゾンデ×3 ビーコン×3 スノーソー たわし
 赤布適宜 竹ペグ適宜 灯油ポンプ お茶パック適宜 赤旗×30

【個人装備】

- ザック ヤッケ or 雨具 シュラフ シュラフカバー 個マット 登山靴
 防寒着×2 着替え 帽子 目出帽 手袋×2 オーバーグローブ ロングスパッツ
 サングラス ゴーグル 日焼け止め ヘッドランプ ライター 巻紙 ビニール袋
 軍手 雑巾 ポリタンク (2ℓ) 個コップフェル ナイフ コンパス レーション 笛
 非常食 非常用パック 医療用パック 計画書 地形図 保険証 時計 携帯電話
 学生証 細引き (6mm×10m) 新聞紙 米 合 ピッケル アイゼン ワカン
 替えバンド (アイゼン、スパッツ、ワカン) スリング (120cm) カラビナ

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ

山行報告書 (party wandering)

【山行名】 権現岳権現岳権現岳ごんげガッ (舌かんだ)	
【日時】 2007年2月24日(土)～2月25日(日)	前夜発1泊2日
【目的】 権現岳からの眺めを楽しむ ピッケル・アイゼンワークの習得	

メンバー：CL 大石 原田

[前夜 2. 23 (金)]

21:30 つくば

2:00 天女山入り口

天女さん入り口は冬はゲートがしまっている。そこの脇に駐車できるスペースがあるので車をそこに止めて寝た。

[1日目 2. 24 (土)]

4:30 起床。晴れ。

5:50 出発

9:00 前三ッ頭

前三ッ頭の手前あたりでのぼりが急になる。二人でV4はやはり重い。

10:23 権現岳と三ッ頭のコル

テントを張って、原田と話し合い、天気の良い今日にもう権現岳に行ってしまうことにした。

11:20 出発

12:20 権現岳

天気は、快晴。山頂でココアを飲む。

12:50 出発

13:16 テント場

14:00 テント場付近でビーコンの操作訓練

技トレでもビーコン操作訓練はやるべき。

15:00 訓練終了

[二日目 2. 25 (日)]

4:30 起床 快晴

今日は下るだけだ。

5:35 出発

7:40 天女山入り口

反省会

原田

テント内での整理整頓が少しできていなかった。ガソリンストーブの袋を見失ってしまった。(テントを出るときに見つかった。)

アイゼンを引っ掛けたところがあった。

气象台に電話するのが遅くて情報を得られなかった。

今回はラッセルが無かったから順調にいったが、これでもっと雪があったらとおもうと自信が無い。もっと体力をつけなくては。

大石

余裕のある山行だった。

原田は丁寧に仕事をやっていてすばらしいと思うが、ビーコン操作などは、時間との勝負。多少荒くても少ない時間で広い範囲を操作しなくてはならない。そういうところを使い分けられるようになれば、なお良いと思う。